

本講義に関する注意事項：

1. 受講態度などについて

基本的には、学生の皆さんの自主性を尊重します。しかし、勤勉な学生の皆さんが不利益と感じるような行為は注意したいと考えています。

そこで、次のような行為を行った者は不可とすることがあります。また、大学の規定による処分が行われます。

- ・ 講義中の私語など、講義の妨害と思われる行為をした者
- ・ 試験やレポート、あるいは出席にかかわる不正行為にかかわった者
- ・ その他、大学生として不適切と思われる行為を行った者
- ・ 30分以上遅れた場合には欠席とする。無断で早退した場合も欠席とする。

2. リアクションペーパー

リアクションペーパーは出欠表を兼ねています。学籍番号を記載する欄と、学籍番号をマークシート方式で塗りつぶす部分があります。両方を記入して下さい。また、必ず自筆で書くようにしてください。

大人数の場合には、個々にフィードバックできません。リアクションペーパーに書かれた内容を匿名で利用しながら、クラス全体にフィードバックしたいと思います。

シラバス詳細情報

学期	2008年秋	授業コード	26358
科目	自然科学基礎(わたしたちと物理学)		
教員	森 厚		
種別	週間授業	単位数	2 単位
曜日	木曜日3時限		
抽選対象	抽選科目	抽選定員	90名
抽選備考			
授業概要	<p>本講義では、次のような事項を講義していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物理学は身近な現象を説明することから始まったと言える。身近な素材を扱い、その裏側に隠れた理論や考え方を紹介していく。</li> <li>2. そうした数多くの物理法則を手に入れることで、人類は「予知能力」を身につけたと言える。その物理法則の多くは、(1) 観察・計測することで疑問を持つ (2) 仮説を立てる (3) 実験を通して検証する、という手続きを通して確立されてきた。この講義では、身近な事柄にこうした手続きを適用する練習も行う。</li> <li>3. また、予言は、日常生活からは実感できない事柄にも及んだ。そうした不思議な世界も垣間見る。</li> </ol>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>01. イントロダクション</li> <li>02. 永遠に動きつづける機械の夢</li> <li>03. ものの落ち方</li> <li>04. 車は急に止まれない</li> <li>05. 万物は「回転」する</li> <li>06. 波であふれている世界</li> <li>07. 身近な現象にみる観察と仮説と検証-1-</li> <li>08. 身近な現象にみる観察と仮説と検証-2-</li> <li>09. 歴史的な実験にみる観察と仮説と検証</li> <li>10. 物質の性質と熱とエネルギー</li> <li>11. 年をとらない宇宙旅行</li> <li>12. 友達の友達の友達の数(連鎖反応)</li> <li>13. 原子力の功罪</li> <li>14. 期末試験</li> </ol> <p>なお、学生諸君の理解度によってスケジュールと内容は適宜変更する。</p>		
テキスト	特に指定しない		
参考書	<p>朝永振一郎「物理学とは何だろるか」 岩波新書          その他、授業中に随時紹介する</p>		
評価基準	<p>出席(30点) レポートなど提出物(30点) 試験(40点)</p> <p>A: 90 ~ 100点          B: 80 ~ 89点          C: 70 ~ 79点          D: 60 ~ 69点          F: 0 ~ 59点</p> <p>30分以上の遅刻は基本的に出席として認めない。</p>		
連絡先	講義の中で周知する。		
URL	<a href="http://www2.obirin.ac.jp/~moriat/">http://www2.obirin.ac.jp/~moriat/</a>		
キーワード	物理学 法則		
備考	学生諸君の理解度によってスケジュールと内容に変更がありうる。		